

令和6年11月22日

文化審議会の答申（登録有形文化財（建造物）の登録）

文化審議会（会長 しまたに ひろゆき 島谷 弘幸）は、令和6年11月22日（金）に開催された同審議会文化財分科会の審議・議決を経て、新たに129件の建造物を登録するよう文部科学大臣に答申しました。

この結果、官報告示を経て、登録有形文化財（建造物）は14,432件となる予定です。

1. 今回答申された登録有形文化財（建造物）の概要

	新規登録	累 計
登 録 件 数	129	14,432
関係都道府県数	24	47
関係市町村(区)数	49	1,028

○時 代 別 (件)

	江戸以前	明 治	大 正	昭 和			計
				前期 (S元～ S20)	中期 (S21～ S40)	後期 (S41～ S64)	
新規登録	14	34	22	36	15	8	129
累 計	2,582	4,523	2,923	3,681	651	72	14,432

○種 別 (件)

	産 業			交通	官公 庁舎	学校	生活 関連	文化 福祉	住宅	宗教	治山 治水	他	計
	1次	2次	3次										
新 規	0	6	7	1	3	5	0	9	63	35	0	0	129
累 計	136	1,494	1,777	527	253	457	336	508	6,485	2,142	225	92	14,432

(件)

	建 築 物	土木構造物	その他の工作物	計
新規登録	109	1	19	129
累 計	11,495	678	2,259	14,432

今回の答申における主なもの

① 札幌市民のシンボルタワー

001 さっぽろテレビ塔 北海道札幌市

昭和32年／昭和38年改修

おどおりこうえん
大通公園の東端に位置し、電波発信及び観光拠点の機能を担う自立式の鉄塔。鉄塔部分の設計指導は内藤多仲^{ないとうたちゅう}。総高144メートル、末広がり^{はるみ}の立面形状で上下に展望台を設ける。札幌を代表するランドマーク。



提供：札幌市教育委員会

② 戦災復興期の銀座の賑わいを伝える商店

027 銀座大野屋店舗兼主屋^{おおのや} 東京都中央区 昭和26年／昭和後期・平成13年改修

銀座の昭和通りと晴海通り^{はるみ}の交差点に面して建つ足袋店の店舗。隅切りの敷地形状に合わせた五角形平面で、正面にショーウィンドー、内部に帳場^{ちょうば}を残す。戦災直後の銀座の景観を今に伝える貴重な木造の店舗建築。



③ 柔らかな光が降り注ぐ^{せいひつ} 静謐な教会

028 日本聖公会東京教区東京聖十字教会聖堂^{せいこうかい} 東京都世田谷区 昭和36年／平成14年改修

世田谷の閑静な住宅街に建つ教会。設計はレーモンド建築設計事務所。ヴォールト形とした無柱の空間に、正面及び腰屋根の窓から柔らかな光が降り注ぐ。集成材を大胆に用いて、祈りの場に相応しい静謐な空間を創出する。



④ ローゼ橋技術を駆使した凸レンズ形の橋梁

044 ^{さかえはし} 栄橋 ^{さくほまち} 長野県佐久穂町 昭和13年

千曲川の上流部に架かる道路橋。凸レンズ形状のアーチが特徴的なローゼ橋で、両脇に片持ち梁の桁を延ばす。日本におけるローゼ橋の建設技術を確立した、土木技術者^{なかじまたけし}中島武が手がけた橋梁の一つ。



⑤ ドングリ形の愛らしい山荘建築

045 野沢温泉ロッヂ 長野県野沢温泉村 昭和44年／平成26年改修

長坂ゲレンデ脇に建つスキーロッヂ。設計は^{よしざかたかまさ}吉阪隆正及びU設計室。正六角形平面を積み上げてドーム型とし、外壁は緑色鉄板張りで随所を開けた窓がアクセント。ドングリ形の外観が愛らしく、印象的な山荘建築。



⑥ ^{ちくぶしま} 竹生島に建つ復古的な意匠の仏堂

046 ^{ほうごんじべんざいてんどう} 宝蔵寺弁才天堂 滋賀県長浜市 昭和17年

^{べんざいてん} 弁才天を祀る^{ちくぶしま} 竹生島の真言宗寺院の本堂。設計は^{いぬいかねまつ} 乾兼松。入母屋造り^{いりもやづく} 檜皮葺きで、前方に土間の^{らいどう} 礼堂、後方を内陣・脇陣を配し、内陣は小壁に^{ひてん} 飛天の壁画を飾り華やか。琵琶湖の名刹に相応しい復古的な意匠の仏堂。



⑦ 古都の風格を備えた現役の市庁舎

048 京都市役所本庁舎 京都府京都市 昭和2年／昭和6年増築、令和3年改修

御池通り^{おいけどお}に南面して建つ市庁舎。設計は京都市営繕課、顧問は武田五一^{たけだごいち}。鉄筋コンクリート造地上4階地下1階建。垂直性を強調した外観で玄関ホールのイスラム風アーチなど東洋風意匠を取り入れる。古都に相応しい風格備えた現役の市庁舎。



⑧ 日本唯一の三連の春日造りの復興本殿

071～076 西宮神社本殿ほか5件^{にしのみやじんじゃ} 兵庫県西宮市 昭和36年

西宮のえべっさんとして親しまれる神社の本殿で、3棟の春日造りを連結した大規模社殿。寛文3年（1663）建立の旧国宝であった本殿が戦災焼失し、戦後に同規模同形式で復興。我が国唯一の三連春日造りの本殿^{さんれん}。



提供：古川賢一

⑨ 中庭状の広場と調和した大学校舎

122～126 旧九州芸術工科大学環境画像棟ほか4件^{きゅうしゅうげいじゆつこうかだいがくかんきやうがぞうとう} 福岡県福岡市

昭和45年／平成26年・令和元年改修

西鉄大橋駅^{にしてつおおはしえき}東方にある現九州大学芸術工学部の校舎。設計は香山壽夫^{こうやまひさお}＋環境設計学科。鉄筋コンクリート造6階建、躯体打放仕上。下層を吹抜ラウンジ、上層をバルコニーとした階段状の立面構成で広場に面する。香山によるキャンパス計画の規範となる校舎。



<担当> 文化庁文化財第二課 電話：075-451-4111（代表）
課長 田中 禎彦
課長補佐 上田 和輝
登録部門 清永 洋平、市橋 弥生、高山 珠由（内線 9755）
審議会係 今村 結記、梶村 伊織（内線 9756）